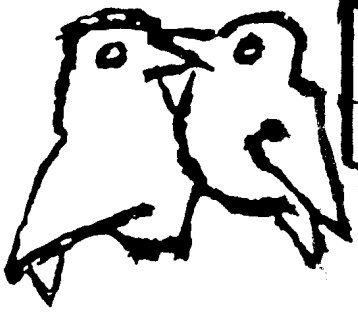
武者小路實篤全集

第十三

武者小路实笃全集

苏州大学院图书馆
藏书章



第十三卷

武者小路實篤全集　第十三巻

一九八九年一二月二〇日　初版第一刷発行

著者――武者小路實篤
発行者――相賀徹夫
発行所――小学館
〒一〇一-〇一　東京都千代田区一ツ橋二丁目三番一号
振替　東京八―二〇〇番
電話　編集〇三―三二三〇―五一二四
　　営業〇三―三二三〇―五三三三
　　販売〇三―三二三〇―五七三九

印刷・製本――大日本印刷株式会社
用紙――三菱製紙株式会社

＊著者検印は省略いたしました。　＊造本には十分注意しておりますが、万一落丁・乱丁などの不良品がありましたら、おとりかえいたします。　＊本書の内容の一部または全部を、無断で複写複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利の侵害となりますので、その場合はあらかじめ小社あて許諾を求めてください。

Printed in Japan　ISBN4-09-656013-8
©Mushakōji Saneatsukai 1989

目

次

ルオー……一
序……四
ジョルジュ・ルオーの芸術……四
レムブラント……一一
レムブラント……一四
附録……四〇
一　サムソン　一二　アブラハム
後書き……四七
牧谿と梁楷……五一
牧谿と梁楷……五四
一　牧谿の鶴と梁楷の雞骨　一二　東洋と西洋の美術　一三　二人の画のちがひ　一四　二人の画は日本に多い　一五　不思議な画（牧谿の柿と栗）　一六　牧谿の八哥鳥その他　一七　梁楷の李太白　一八　牧谿の観音と羅漢図　一九　牧谿の手長猿と虎　一一〇　真の芸術　一一一　梁楷の諸作（一）　一一二　梁楷の諸作（二）　一一三　梁楷の諸作（三）　一一四　二人の山水画　一一五　二人の人物画　一一六　二人の芸術　一一七　東洋的真人　一一八　酣古帖を見て（一）　一一九　酣古帖を見て（二）　一二〇　梁楷の人物画、牧谿の動物画　一二一　梁楷から連想する支那の人物画　一二二　画の不思議さ　一二三　いゝ人間　一二四　二人を讃美す　一二五　二人の美の殿堂

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

一二六　終りに
追　記……八三

岸田劉生……八七
岸田劉生……九〇
劉生の画に就て……一〇六
山人と劉生鬼退治に就て……一一〇
岸田から僕へ来た手紙……一一一
大正七年の部　一　大正八年の部　一　大正九年の部　一　大正十年の部　一　大正十一年の部
一　大正十二年の部　一　大正十三年の部　一　大正十四年の部
岸田劉生年譜……一三一
〔付〕
岸田について……一三六
岸田劉生兄……一三七
岸田劉生画……一三八
劉生展に……一三九
岸田劉生展によせて……一四〇
岸田劉生とその友人達……一四〇

六人の現代画家……一四三
序……一四五
梅原龍三郎……一四六
前田青邨……一四九
福田平八郎……一五二
奥村土牛……一五五
徳岡神泉……一五八
林　武……一六二
〔付〕
鈴木信太郎君の画……一六六
鳥海青児の画……一六八
梅原の画に就て……一七〇
梅原龍三郎の画に就いて……一七二
梅原龍三郎……一七五
中川一政の画〔1〕……一七七
中川一政の画〔2〕……一七九
中川一政の画〔3〕……一八〇
中川一政の画〔4〕……一八三

椿貞雄の画……一八六
『画道精進』の序……一八八
椿貞雄回顧展に際して……一八九
千家の色紙短冊の会に就て……一八九

美はどこにも……一九一
序……一九三
落葉の美……一九三
紅葉の美……一九四
花の美……一九五
冬枯の牡丹……一九六
葉の出方……一九六
竹の葉……一九七
不可能を可能に……一九八
ぼたんの芽……一九九
白い八重のさざん花……二〇〇
人形を写生す……二〇一
耳順ふ……二〇一

馬鹿正直……二〇二
二宮尊徳（一）……二〇三
二宮尊徳（二）……二〇四
常盤木と落葉樹……二〇五
雑　草……二〇六
冬枯れの無花果……二〇七
山上を目ざして……二〇八
愛と美……二〇八
美について（一）……二〇九
美について（二）……二一〇
美の国……二一一
美のわかる人……二一二
老画家の詩……二一二
其処が嬉しいのだ……二一三
美の国……二一四
一つの草さへ……二一五
あるがまゝ……二一六
美への道……二一七

自分の道……二一八
後　書……二一九

画をかく喜び……二二一

柿と柚……二二三
石蕗（つわぶき）……二二四
画をかく楽しみ……二二五
素人と玄人……二二八
線と色……二二九
写生の精神……二三一
画をかくことと美の発見……二三二
画の味について……二三四
馬鈴薯と南瓜の美……二三六
　馬鈴薯讃　一　馬鈴薯　一　野菜の画に
僕の画の線について……二四〇
一　心……二四二
　林檎と蜜柑
一つ一つの画について……二四三
　赤い小菊　一　バラ　一　黄菊　一　百日草　一　黄色いダリア　一　唐辛の一種　一　御所人

形 一 南瓜、玉葱、りんご、ピーマン 一 ほおずき 一 枝のついた蜜柑 一 玉葱と桜桃
と伊予柑 一 荀 一 桔 梗 一 鉄線花 一 貝殻二つ 一 薔 薇 一 マーガレット 一 あ
ざみの花 一 水 仙 一 野菜三種類 一 南瓜と薩摩芋 一 山をかきたい画家 一 雑 草
一 一人の画家
個 性……二五五
美……二五七
柿の賦 一 夢 一 玄 妙
画を見る喜び……二六一
誰でも画はかける……二六二
私の貝殻……二六五
自 序……二六七
僕の画に関する散文……二六九
僕の写生に就て 一 自然のつくつたもの 一 沈黙の世界 一 野菜をかく 一 勉強、勉強
一 贋物と本物
僕の画に関する詩……二七九
私の貝殻 一 この本 一 南瓜に 一 南瓜との問答 一 不自由な画家 一 自然の傑作
一 行く道 一 沈 黙 一 レンブラント 一 リンゴの画に題す 一 柿の賦 一 いゝ墨
一 雑 草 一 野菜の画に 一 桃 栗 一 美に向つて 一 ある画家とある蛙 一 馬鈴薯
一 一人の画家 一 山をかきたい画家 一 馬鈴薯讃 一 林檎と蜜柑 一 柿と柚 一 玄

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

妙 ― 言葉の私と沈黙の私 ― 私の歩き方 ― 私は
挿画に就て……二九〇
後書き……二九二
私の美術遍歴……二九三
この本を書いて……二九五
― 第一部 ―
梁楷について……二九七
一 「松下琴客図」 一二 「雞骨図」 一三 「李白行吟図」 一四 「六祖截竹図」「経破図」 一五 「踊布袋図」 一六 「釈迦出山図」と「山水双幅」 一七 「寒山拾得図」その他 一八 梁楷の世界
布袋と達磨の画……三一三
李安忠の鶉の画……三一四
徽宗皇帝……三一六
ある八大山人山水冊……三一八
八大山人寸感……三二〇
また八大山人の画について……三二二
禅月大師の羅漢像……三二三
― 第二部 ―
大雅と元信……三二六

村上華岳（一）……三二八
村上華岳（二）……三三〇
華岳と大雅堂の一面……三三三
一休の書二幅……三三四
若冲の雞……三三七
雪舟の馬と鶺鴒……三三九
良寛の髑髏……三四〇
光琳のことなど……三四二
白隠の画雑感……三四三
白隠の書……三四六
唐宋名画と劉生のこと……三四八
小林古径（一）……三五〇
小林古径（二）……三五三
小出楢重の日本の裸婦……三五四
安井君のある画……三五五
―第三部―
真剣な人々の作品……三五六
四十八体仏とギリシャ彫刻……三五八

僕を画かきにしたテラコッタ……三六一
フラ・アンジェリコ……三六三
セザンヌの画……三六四
レンブラント……三六八
ティツィアーノの裸婦……三六九
ドウミエの画……三七一
ブルデルの水彩……三七四
画家と個性（ピカソの画）……三七六
ルソーとゴッホ……三七九
ゴッホの「囲いのある土地」……三八一
ゴッホのある自画像……三八三
マチスの影のない画……三八五
ミレーとゴヤ……三八七
ゴヤとマネの二つの画……三八九
―第四部―
好き者の独語……三九二
気らくに……三九四
私は画を愛する……三九五

気のむくままに……三九七
のん気な空想……三九九
正直に生きてみたい……四〇一
ニセ物雑感……四〇二
毎日の生活……四〇五
自分の画（一）……四〇七
自分の画（二）……四〇九
自分の画を見て……四一一
老人の夢　八十九歳の男……四一三

美術雑感(二)……四一五

雑誌「向日葵」……四一七
向日葵独語〔一九四七・一〕　一　向日葵随筆〔一九四七・四〕　一　向日葵独語〔一九四八・一〕
雑誌「座右宝」……四二八
美術雑感〔一九四六・四〕　一　小林古径〔一九四六・九〕　一　マチスのある石版画に就て〔一九四七・四〕　一　梅原の新しいデッサン〔一九四七・一一〕
雑誌「心」……四三七
デュフィの或る海岸の画を見て〔一九四九・二〕　一　沈石田の「馬」に就て〔一九四九・三〕
一　相阿弥に就て〔一九五〇・五〕　一　雪舟「雷」〔一九五〇・八〕　一　御舟の「白椿」〔一九五

○・一〇〕一デ・プロフンディス〔一九五三・五〕一内藤夫人　岸田劉生〔一九五三・八〕
一風景　中川一政〔一九五三・九〕一素描　ブルデル〔一九五三・一〇〕一裸婦　ボナール〔一九五三・一一〕一早春　熊谷守一〔一九五四・一〕一梅花図　八大山人〔一九五四・一〕
一静物　安井曾太郎〔一九五四・三〕一童女図　小林古径〔一九五四・四〕一叠見三元金冬心〔一九五四・四〕一風景　ブラック〔一九五四・五〕一サロメ　モロー〔一九五四・六〕
一鍾馗　仙崖〔一九五四・七〕一素描　マチス〔一九五四・八〕一風景　ユトリロ〔一九五四・九〕一深秋　榊原紫峰〔一九五四・一〇〕一山岳図　華岳〔一九五四・一〇〕一道化ルオー〔一九五四・一一〕一蘇東坡　鉄斎〔一九五四・一一〕一女の顔　ピカソ〔一九五四・一二〕一豆の花　御舟〔一九五四・一二〕一牛の図　宗達〔一九五四・一二〕一紅梅　小林古径〔一九五五・一〕一俑　安田靫彦〔一九五五・一〕一静物　中川一政〔一九五五・二〕一仁王　前田青邨〔一九五五・三〕一麗子裸像　劉生〔一九五五・四〕一山水　石濤〔一九五五・四〕一天馬　ルドン〔一九五五・四〕一山帰来小禽　宗達〔一九五五・五〕一浅間山　梅原龍三郎〔一九五五・六〕一桔梗　小林古径〔一九五五・八〕一素描　ピカソ〔一九五五・八〕
一風景　ブラマンク〔一九五五・九〕一志賀直哉の書〔一九五五・一〇〕一福の神　仙崖〔一九五五・一一〕一蓮葉上の蛙　榊原紫峰〔一九五五・一二〕一素描　安田靫彦〔一九五六・一〕一前田青邨の鴨〔一九五六・二〕一静物　中川一政〔一九五六・四〕一靫彦筆　桜〔一九五六・五〕一鶉　八大山人〔一九五六・五〕一信実筆　柿本人麿像〔一九五六・六〕一蟹之図　安井曾太郎〔一九五六・一二〕一素描　レダと白鳥　ブルデル〔一九五六・一二〕一紅梅之図　安田靫彦〔一九五七・一〕一筍之図　福田平八郎〔一九五七・一〕一富士之図　横山大観〔一九五七・三〕一パリのキャフエ　佐伯祐三〔一九五七・三〕一松関石門　村上華岳〔一九五七・三〕一庭　ブルデル〔一九五七・四〕一バルザック　ピカソ〔一九五七・四〕

一　花瓶と蘭　八大山人〔一九五七・四〕　一　自分の富士に就て〔一九五七・七〕　一　水彩画　ラプラード〔一九五七・八〕　一　墨竹　大雅堂〔一九五七・八〕　一　アルノルフィニーの肖像　バン・エック〔一九五八・四〕　一　キリストと二人の使徒　ルオー〔一九五八・六〕　一　静物　岸田劉生〔一九五八・八〕　一　地霊　ルドン〔一九五八・八〕　一　石版裸婦　マチス〔一九五八・八〕　一　椿花研彩　速水御舟〔一九五八・九〕　一　帆柱の立ち並ぶサン・トロペー風景　スゴンザック〔一九五八・一〇〕　一　素描(一)　ピカソ〔一九五八・一〇〕　一　素描(二)　ピカソ〔一九五八・一〇〕　一　夜の静物　ゴッホ〔一九五八・一一〕　一　ギリシャのテラコッター〔一九五八・一一〕　一　男の裸体　ミケルアンゼロ〔一九五八・一一〕　一　雪下のブルゾル村　ブラマンク〔一九五八・一二〕　一　アルピーユ　ゴッホ〔一九五八・一二〕　一　夜空の糸杉　ゴッホ〔一九五八・一二〕　一　漢時代の牛〔一九五九・一〕　一　タヒチの少女　ゴーガン〔一九五九・一〕　一　聖母（幼児イエスの宮詣り―部分）　アンゼリコー〔一九五九・二〕　一　禿鷹　ゴヤ〔一九五九・二〕　一　笛吹く人（エトルスク）〔一九五九・二〕　一　クールブボア風景　スーラー〔一九五九・三〕　一　乾山作浪千鳥額皿（絵　光琳）〔一九五九・三〕　一　裸婦（デッサン）　ルノアール〔一九五九・三〕　一　椿之図　椿貞雄〔一九五九・六〕　一　素描　セザンヌ〔一九五九・六〕　一　素描　ロダン〔一九五九・六〕　一　竹林七妍人　河野通勢〔一九五九・七〕　一　山水　夏圭〔一九五九・七〕　一　地獄（部分）　信実〔一九五九・七〕　一　朝顔（一九五一年作）　福田平八郎〔一九五九・八〕　一　サルダナパールのための習作　ドラクロワ〔一九五九・九〕　一　接吻　ロダン〔一九五九・九〕　一　画竹　揚无咎〔一九五九・一〇〕　一　秋林万壑図　王蒙〔一九五九・一〇〕　一　芥子の図　安田靫彦〔一九五九・一一〕　一　男の顔　モヂリアニー〔一九五九・一二〕　一　素描　ボナール〔一九五九・一二〕　一　イランの鳩〔一九六〇・一〕　一　アルノ川の岸　前田青邨〔一九六〇・一〕　一　画家の母　ヴィヤール〔一九六〇・二〕　一　タヒチの女　ゴーガン〔一九六〇・二〕　一　風景　中

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com